

# 平成29年度 下甌・鹿島地域 まちづくり懇話会 答弁要旨

と き 平成29年4月12日（水）15：00～17：00  
ところ 長浜地区コミュニティセンター  
出席者 市：市長、知識副市長  
企画政策部長、市民福祉部長、建設部長、商工観光部長、教育部長  
観光・スポーツ対策監  
下甌支所長、地域振興課長  
鹿島支所長、地域振興課長、教育課長  
甌はひとつ推進室長、地域政策課長、広報室長

外市職員17名

地域：各地区コミュニティ協議会長をはじめとする  
地区住民 47名  
(合計 80名の参加)

## 議 題

### 議題1（手打地区コミュニティ協議会）

手打地域活性化施設「てうちん浜や」の太陽光発電の設置  
及び松ヶ浦海岸等への遊歩道の整備について

①手打地域活性化施設「てうちん浜や」については、4月23日に正式にオープンし、本格的に営業を開始したところである。

経営の方針としては、地産・地消を基本として、地元で取れる食材を生かした食事の提供を行っている。オープンから今日に至るまで地元の人たちの関心も高く、順調な滑り出しとなっているが、反省点も多く、経営の難しさを痛感しているところである。

特に支出面では、人件費や食材費等経営の安定を図るうえで改善すべき点が多くあり、随時ミーティング等を行いながら、健全な運営に向けて協議を重ねているところである。

また、経営を圧迫しかねないのが施設の光熱水費となっている。特に、電気代の占

める割合が高く、これからの経営に支障をきたす大きな要因になるのではと懸念している。

例年、猛暑が続いている離島では、夏場のエアコンの使用量が今後ますます増大することが予想される。そこで、この電気代を軽減するためにも施設の屋上に太陽光発電施設の設置をお願いしたい。これが実現すれば経費削減も可能となり、経営の安定が図られるものと思われる。

②手打地域活性化施設周辺の一体的整備として、隣接する岩礁を生かし、釣り場と併用した遊歩道を設置する等、観光資源として整備していただきたい。併せて、以前設置されていた松ヶ浦海岸への遊歩道の復旧を要望するものである。この地は玉石の海岸であり、これまでほとんど手付かずの自然が残る海岸でもある。

手打地域活性化施設の近くであることから、遊歩道を整備することにより、地元民はもとより、観光客の憩いの場になると考える。玉石の観賞や海釣りなども可能となり、身近に自然を満喫できる唯一の適地として期待される。

#### 【観光・スポーツ対策監】

かねてから、市の観光行政に対し御協力と御支援をいただき、感謝申し上げます。

特に、手打地区においてはてうちん浜やの運営を開始され、本年度については黒字の見込みもあるとの明るい話もいただき、大変有難く思っている。

それでは、てうちん浜やに太陽光発電を設置、松ヶ浦海岸への遊歩道整備の2点について回答させていただく。

てうちん浜やについては、利用料金制の指定管理施設として、民間の活力、アイデアを生かした運営をしていただくことを目的として、指定管理申請要領に基づき、施設の概要、業務の範囲、管理基準等をお示ししたところであり、太陽光発電を設置していない現状での施設、設備での管理運営の検討をお願いしたところである。

この要領に基づき、手打地区コミュニティ協議会からの指定管理者指定申請書の提出を受け、平成27年10月に選定委員会を開催し、指定管理者として手打地区コミュニティ協議会が選定されたことから、現在の運営に至っている。

提案いただいた太陽光発電の設置については、経費削減も可能となり、経営の安定につながるものと考えている。一方、施設が東向きであり、南側、西側に山が迫っている。また冬場の状況等の課題もあり、現時点では設置する計画はないので、御理解を賜りたい。

なお、懸念されている経営安定の件については、本市としても観光客の誘客を図るなど、経営の安定化の一助になれるよう、努めて参りたいと考えている。

続いて、遊歩道の設置についてお答えしたい。

これまで県の魅力ある観光地づくり整備事業に要望しており、県、市、地元との打ち合わせの際に、岩礁の遊歩道と松ヶ浦の遊歩道の2つが検討されたところである。

その際、岩礁の遊歩道を優先するとの回答が得られたところであり、県において岩礁の遊歩道が基本設計の段階にある。今後、実施設計の中で検討されるものと考えている。一方、市としては、地元の意向もあるので、平成29年度の要望として、県の魅力ある観光地づくり整備事業に、岩礁の遊歩道と松ヶ浦の遊歩道、2つの要望を行っている。

なお、松ヶ浦の遊歩道については、御承知のことと思うが、これまで台風被害に複数回遭っていること、落石や遊歩道に敷設してある合板の腐食等、維持管理面での懸念もある。

いずれにしても、県に相談していく考えであり、地元と一緒に進めていくので、御理解をお願いしたい。

#### 意見・要望

太陽光発電の件については、確かに、冬場になると日が照らないということ等もあるので、納得した。

岩礁の遊歩道については、ぜひ実現させていただきたい。

もう一つお願いである。

地域活性化施設（てうちん浜や）内の調理場のシンクが非常に狭く、使い勝手が悪いので、検討いただきたい。

#### 【観光・スポーツ対策監】

厨房の関係の要望である。

御指摘の冷蔵ショーケース並びにシンクの件については、本年度中に対応したい。市の方も組織の再編があり、商工観光部内に施設室が設置された。そこと連携を図り、対応していきたい。

#### 議題2（子岳地区コミュニティ協議会）

##### バス停の待合所の設置について

子岳（片野浦）地区は、現在、デマンド運行を行っている。

片野浦浜田バス停においては、これまで浜田集会所の一階部分をバスの待合場所として利用し、雨風をしのいでいた。

しかしながら、浜田集会所が取り壊されたことで、バス利用者は強風や雨、炎天下にさらされる等、不便を強いられている現状がある。

バス利用者は、特に高齢者や障害者が多く、時間に余裕をもって行く人がほとんどで

あり、バス停での待ち時間もおのずと長くなる。

そうしたバス利用者のためにも、浜田バス停に待合所を設置していただきたい。

また、同様の理由で、一里橋バス停にも待合所の設置をお願いしたい。

#### 【商工観光部長】

バス停に関する議題であるが、いつもバスを利用いただいていることに対し、まずもって御礼申し上げる。

浜田バス停については、横にある消防団の車庫詰所の跡を一時的に一部利用してはどうかと考えており、現在、現場の立会い等もさせていただいているので、早い時点で対応できると考えている。

一方、一里橋のバス停については、すぐに整備ということは難しい。段差を解消する必要はあるが、公園の東屋を利用したいと考えている。

いずれにしても、バスについては少子高齢化で免許の問題等もある。一部は運行ルートの見直しもお願いしているところである。橋が架かった後は、島全体のコミュニティバスの再編が必要と考えている。車両を小型化し、地区の運行区域の拡大を含めて、今後検討していかなければならないと考えているので、引き続き、御理解をお願いしたい。

#### 議題3（西山地区コミュニティ協議会）

##### 市道の拡張と整備について

平成27年4月13日に行われたまちづくり懇話会で、議題として提出した林道「大内浦線」の道路脇の伐採については迅速に対処していただいた。御礼を申し上げたい。

今春、内川内と瀬々野浦間が大内浦線を通して車で往来ができるようになり、地域住民も喜んでいる。また観光客とおぼしき人たちを見かける機会も増え、下甌にとって、国定公園の中を走れるよい観光ルートになったと考えている。

そこで今回、市道の拡張と整備について要望したい。

瀬々野浦から各地区に通じる市道は狭くてカーブが多く、舗装もはがれている箇所がたくさん見受けられる。地域住民としては、山を越えないと他の地域に行けない不便さを感じている。狭い道路において事故を起こさないよう、また事故に遭わないように細心の注意を払いながら運転しているのが現状である。道路を広くして、カーブ部分が直線になるよう、舗装の改修と全線の白線引きをお願いしたい。

また、夏は草や竹が道路まで伸びてきて、どこまでが道路なのか分からない状態になる。危険なので、伐採等も徹底していただきたい。

最近では観光バスも多く見受けられる。スクールバスが通り、住民にとっては大事な生活道路となっているので、住民が安心して生活できるよう、お願いしたい。

**【建設部長】**

建設部で回答させていただく。

市道の拡幅ということで、西山地区については、長浜瀬々野浦線と片野浦瀬々野浦線の2本線がある。全体的にカーブが多く、運転しづらい路線となっていること、また、舗装の老朽化で路面が荒れている箇所があること、路側線等が消えかかっていること、また夏場は特に雑草が繁茂して危険であること等、多くの課題があると理解している。

これまでも、一部県の補助等を活用して拡幅を実施しているが、全体的な拡幅改良は難しい面がある。ショートカット、これはカーブのでっぱりをカットして先が見えやすいようにすることであるが、これについては用地関係が解消できれば実施できると考えている。

なお、用地に関係のない、舗装の改修、区画線の引き直し等は、支所と現地調査をさせていただき、早急に実施したい。路肩の伐採等については、ゴールデンウィーク前や帰省客が多くなるお盆前等を実施していく。建設業者に委託したいと考えているので、要望箇所については支所へ連絡をいただきたい。

全体的には、これまで同様に通行や生活面で支障になるような場所については、迅速に対応していきたいと考えている。

**意見・要望**

道幅を広げるということは非常に難しいと考えるが、山側にある側溝に蓋をしていただけだけでも、若干道幅が広がるので、ぜひ検討をお願いしたい。

**【建設部長】**

承った。現地を案内いただいて、実施して参りたい。

**議題4 (内川内地区コミュニティ協議会)**

**道路の整備について**

当地区の神社道から内川内海岸までの道路（里道）を整備していただきたい。

**【建設部長】**

先ほど、知識副市長、鹿島の瀧津支所長と一緒に、該当箇所の海岸まで現地確認を行ってきた。25分ぐらいで下り、50分ぐらいかけて戻ってきた。

神社から見下ろす滝と海岸から見上げる滝がとてもきれいで印象的だった。神社までは階段もある。そこから先の600mぐらいが歩きづらいつと感じたが、同時に、九十

九折であったり、天然の木のトンネルがあったりと、魅力のある遊歩道のように感じるところである。勾配が急な部分に擬木（プラスチックで自然の木を模したもの）の階段を作ったり、手すりを付けたりということを検討してみたい。ただ、機械施工ができない場所になるので、人力ということで単価的には結構上がると思うが、国立公園の特別地域にもなっているので、県等と協議し、いい事業が取り入れられるようにしたい。

上甌の方でもそうした制度を長目の浜の近くに取り入れた例もあるので、同様な事業は可能だと考えている。検討の上、御報告させていただきたい。

#### 要 望

避難所からコミセンまで下りるバス道路等に若干亀裂が入って陥没しているので、補修等を検討していただきたい。

#### 【建設部長】

その道路を通ったが、気付かなかった。確認させていただきたい。

#### 議題5 （長浜地区コミュニティ協議会）

##### 下甌島を拠点とする総合施設（多目的施設）の建設整備について

当地区のコミュニティセンターは、昭和48年に建設され、一昨年の耐震検査でも問題ないことが判明している。

「耐震検査は、一回の強震に耐え得る検査で、先の熊本地震のような強震が続いた場合は、この限りでない。」との地震専門家の見解を聞いた。

本地区に限らず、市内全域の施設の老朽化が進んでいることは承知している。

さて、現在、下甌島には多人数を収容できる総合施設が存在せず、上島に比べ、数年遅れをとっているのが実情である。

鹿島架橋が完成したら、海上交通の拠点が里と長浜になることは明らかである。

また、陸上交通においても、物流の拠点である長浜港との関連性からみても、当地区が拠点になるのではないかと考える。

昨年はコミュニティセンターの建て替えを提案させていただいたが、今回は、多くの地区住民が望んでいる「下甌島の住民が広く利用できる場」「相互の親睦の場」「高齢者運動等の活動の場」「各種会合の場」さらには「有事の際の避難場所」となり得る総合施設（多目的施設）の建設を、提案議題とさせていただいたところである。

施設の規模については、私共が発言する立場にはないが、なるべく多くの方を収容できる施設にしていただきたい。

また、設置場所については、市有地（緑地公園）を考えている。

さらに、この施設管理のためにも、長浜コミュニティセンターについては、その一角に設置していただくようお願いしたい。

#### 【企画政策部長】

まずもって、日頃から地区コミュニティ協議会あるいは自治会活動を通じて地域の活性化に御尽力をいただいていることに対し、感謝申し上げる。

提案の件については、昨年5月にも同様の要望をいただいている。大変大きなテーマをいただいたと考えている。総合施設、多目的施設の建設については、現在のところ、具体的な計画は持ち合わせていない。建設場所については、さまざまな考え方があり、難しい問題があると考えている。昨年4月に、甌はひとつ推進会議から市に提出していただいた提言書の中に、「現在ある施設の老朽化等を踏まえ、建て替え等を行わなければならない時は、人口動態や生活圏等を踏まえ、住民の意見を参考に場所等を検討していただきたい。」といった基本的な考え方が示されている。今年3月に市で策定した公共施設再配置計画においては、利用者の安全確保のための再配置、地域バランスを考慮した再配置、地域の交流を創出する再配置、適切な施設規模での再配置、この4つの基本方針が示されているところである。

以上のことから、総合施設の建設については、藺牟田瀬戸架橋の完成後の甌島地域全体の公共施設の在り方を議論する中で、地域の意見等も踏まえ、総合的に検討して参りたいと考えている。

#### 要 望

総合センターについては、もう少し時期を置くとのことで、今後に期待したい。

他の地域では、地区コミュニティセンターにエレベーターを付けていただいている。

当センターにはエレベーターがなく、2階で催し等がある際、高齢者の負担になっているので、ぜひエレベーターを設置していただきたい。

#### 【企画政策部長】

市内にある2階建ての地区コミュニティセンターについては、地元の要望等を受け、随時、計画的に整備を進めているところである。

今、要望いただいたので、今後地元の意見を踏まえながら、状況を調査して進めて参りたい。

## 議題6 (青瀬地区コミュニティ協議会)

### 公衆トイレ及びシャワー施設の設置について

青瀬地区にはきれいな砂浜があり、海水浴場として利用されているが、残念なことに、シャワー室やトイレが設置されていない。このたび、地区コミュニティセンターの近辺にある県道沿いの土地の所有者から、その土地を有効活用してもよいとの了解を得ることができた。そこで、この場所にシャワー室及びトイレの設置を要望したい。なお、管理は当地区コミ協で行いたいと考えている。

建設の際、この施設に住民が集える憩いの場的なスペースもつくってもらえれば、遊泳の監視も兼ねて安全性も高まると考える。

### 【観光・スポーツ対策監】

青瀬地区コミュニティ協議会におかれては、椿油を使った商品開発等、各種の取り組みを紹介いただき、また実施されていることに対し、厚く感謝申し上げます。

公衆トイレ及びシャワー設置についての御意見である。

青瀬地区の海岸については、風光明媚な砂浜であり、地元の方々を中心に、各自の責任のもとで海水浴等に利用されている。現在、甌島で海水浴等が行われているいずれの海岸についても、監視等を行う海水浴場としての開設、運営は行っていない。これについては、今後も同様の考えである。

海水浴場を開設、運営する場合、事故等が発生した場合は、海水浴場の開設、運営者の責任や賠償を問われる場合もある。このことから、本市としては遊泳の監視等を行う新たな海水浴場の開設、運営は現在のところ難しい。また、シャワー施設等設置についても同様に難しいと考えているので、御理解をいただきたい。

また、仮の話になるが、施設が設置された場合、施設の管理については地元、あるいは地区コミで管理いただくことは十分可能であると考えている。ただし、そうなる万が一事故が発生した場合、地区コミが責任を問われることになるので、御承知置きいただきたい。

また、市が施設を整備する場合、個人名義の土地に整備することは適当でないことから、土地の所有権を市に移す必要があること、これらの課題があるので、今後の研究課題とさせていただきたい。

### 意見

この土地の持ち主は関東にいる方だが、地区に寄贈したいとの意思が確認できているので、名義変更は可能である。

議題の中で申し上げた「憩いのスペース」は、ただ監視するという意味合いではなく、みんなが集える場になり、ひいては監視も兼ねられるのではないかという思いを込めたので、申し添えたい。



## 【観光・スポーツ対策監】

仮りの話をしてしまい、申し訳なかった。

いずれにしても、施設の憩いの場ということになると、先程説明（長浜地区総合施設）がなされたとおり、甌島地域全体の話の中でということになるので、御理解いただきたい。

### 議題7 （鹿島地区コミュニティ協議会）

#### 県道手打・藺牟田港線（藺牟田漁港臨港道路）の早期改良について

県道手打・藺牟田港線は、鹿島から長浜に行くための、迂回路のない最も重要な路線である。

その中で、鹿島神社から甌島漁協鹿島支所間は幅員が狭く、普通車の離合も困難な状況である。今後、藺牟田瀬戸架橋完成に伴い、観光客の増加による車の増加も容易に予想され、交通事故の発生が懸念される場所である。

また、この区間は、過去に小規模な土砂崩れが発生している。仮に、大規模な土砂崩れが発生した場合、上甌島と下甌島を結ぶ縦貫道が寸断され、島民の生活に大きな支障を来すことは必至である。

このことから、架橋の完成後ではなく、架橋完成と同時に、この問題が解決されるよう、県への要望をお願いしたい。

## 【建設部長】

藺牟田漁港周辺の県道整備ということだが、藺牟田瀬戸架橋を含む手打から里までの全区間について、これまでも国・県に要望してきている。長浜地区コミ会長から地区の地域づくりの取り組みの中で話のあった区間についても同様に進めていく。今回の議題である鹿島神社の先までの900m区間については、県が臨港道路として新規事業で整備できるよう、現在進めている。この区間については、漁協の施設や人家があり、移転や補償費等の面においてハードルが高い。道路計画については、平成26年10月に県、市、地元の方々と意見交換会を開催している。そこで出された意見・要望等を踏まえ、予備設計が既に終わっている。市や漁協へ設計の提案がなされており、現在、補償費の算定等の作業に入っている頃と思われる。今後の整備等の手順について、臨港道路ということで水産庁など関係機関等との協議が整い次第、事業着手できるように進めていきたいということである。藺牟田瀬戸架橋が完成すると、間違いなく交通量が増加するので、それまでにはこれらの区間について、工事着手できればという話を聞いている。また、全体的には芦浜トンネル付近の未改良区間についても、早い時期に事業化できないか、国、県へ要望を行っているので、御理解と御協力を賜りたい。また、状況が分かり次第、支所や地区コミュニティ協議会には説明をさ

せていただきたい。

#### 要 望

今年から、海星中学校に通う生徒が出てきた。おそらく、来年、再来年は生徒数も増えてくると思っている。通学路なので、子供達の安全に留意していただき、早急に改良できるようにお願いしたい。

#### その他意見・要望

#### 要 望

3月になると、学校の先生、自衛官、消防隊員の見送りに顔を出す。

これまで、自衛隊にしろ、消防局にしろ、転出する方と同等程度転入があったが、今年は転入がほとんどないような状況であると聞き、啞然とした。

懸念しているのは、レーダー基地ができたことで、仮に戦争が始まると一番先に狙われることである。折りしも近隣諸国できな臭い空気が漂っている今日である。

合併前は、子供のいる方を派遣いただくよう陳情を行っていたが、今はその機会もない。私達も、自衛官に関しては市議や県議、国会議員にも働きかけたいと考えているが、来年度は消防職員だけでも、子供のいる方を派遣していただくよう約束していただきたい。

#### 【市 長】

まず、自衛隊関係だが、12名出て、一人も来ないということであったが、それはあり得ないと考えている。

また、消防職員についても人をやらないということはない。これまでの5人体制を6人体制にした。上甌と下甌にそれぞれ分駐所を持っている。今、必ず一回は甌に派遣するようにしている。なので、必然的に派遣する職員の年齢が若くなっているのも事実である。そうした中での人事になるので、子供のいる人だけ取り分けて派遣というわけにはいかない。人口が一人減ることが、甌にとっていかに大きな打撃となるかはよく理解しているが、適材適所を考慮した上で人事異動を行っているので御理解いただきたい。今後は、それに替わる人口増につながる方策を考えていくべきと考える。

自衛隊の件は確認して、また回答させていただく。

## 要 望

先週、発表された施政方針の3番目に示されている甑島振興について、先ほど市長が説明された。有人国境離島法であるが、私どもは既に4月からその恩恵に預かっている。このことに関しては感謝申し上げたい。

その関連であるが、市長は甑島の観光ということに力を入れておられる。そこで、この特例法を島の住人だけではなく、観光客に対しても適用できればと思う。

もう一つ、願いがある。

甑島商船がフェリーを運航している。私共の鹿島にしか「抜港」という言葉は該当しないが、今年は時化が多く、台風や強風の影響で抜港になるのではと、毎回心配している。車を持っている若い人達はまだしも、交通手段を持たない高齢者の方々が病院等に行く場合も考えられる。南国交通のバスとの関係もあると思うが、考慮いただきたいという要望である。

### 【市長】

抜港については、今のところ考えていない。

一つには、道路状況が整っていないということがある。万が一、鹿島港が抜港になると、長浜、鹿島間に道路が一本しか通っていないこともあり、これが寸断されると何もできなくなる。抜港は、道路条件が整っているというのが大前提である。

藺牟田瀬戸架橋が開通した際には願いがあるかもしれないが、現時点での抜港は考えていないので、心配は要らない。

また、先ほどの有人離島の関係については、「法律」に従って動いている。この法律の中で、島民でないと該当しないということになっている。従って、観光客のみならず、私達も該当しない。ただ、運賃を下げないと観光客も来ないということもあるので、今後、観光客の動向を探りながら、検討していくべきだと考えている。

### 【企画政策部長】

私の方から、有人国境離島法について追加で説明をさせていただきたい。

これは今年の4月に施行され、運賃の低減化ということで、皆様は実際に利用されていると思う。この他に、物資輸送の低廉化、滞在型観光の促進、雇用機会の拡充、島内部の雇用増大につながる創業等、この4つが有人国境離島法の柱になっている。御質問の点については、滞在型の促進ということで、例えば、甑に1泊2日滞在する予定を、1泊延ばして2泊3日にしてもらったら、その分の宿泊費を補助するという制度がある。ただ、これはまだ詳細が決まっておらず、これからになるが、その推移を見ながら、観光サイドの方で事業が進むと考えている。

また、本土から来る方の運賃を下げてもらえれば、まだたくさん来てもらえるとの意見についてであるが、国の当初予算額が全体で50億しかない。その予算では当然

補填はできないので、現在、要望は行っている。これまでも、県の離島振興協議会、国の全国離島振興協議会を通じて、国の方に要望を行っている。今後、島外からの方についても運賃の低廉化ができないかを含め、引き続き、要望を行っていきたい。

#### 要 望

内川内地区は高い場所にある。コミセンに下りるとき等、人家の前を通らないと移動できない。

昔、村道があったようだが、そこを整備していただければ、解決すると考える。そういったことは可能か。

#### 【建設部長】

御要望の箇所が昔村道だったということだが、個人の名義の土地なのか、共用地（赤線や里道）なのかについて、担当者と一緒に現地に出向いてもらい、地籍図と照らし合わせて判断させていただきたい。もし、民地が入っており、用地の提供等ができるような状況であれば、進められるところは進めていきたいと考える。

#### 要 望

甌島に自生するみかんについて、鹿大の山本教授を紹介していただき、3種類のみかんを送り、調べていただいた。結果、トウミカン、シロミカン、ヤマタテの3系統が、「甌島特有の在来ミカン」ではないかとのことだった。これを使って地域おこしができないかと考えているが、自分たちの力だけでは限界がある。そこでぜひ、市から大学側に働きかけていただいて、本格的な調査ができるようお願いしたい。

#### 【商工観光部長】

全部把握はしていないため、現状をまた詳しく教えていただきたい。珍しいものがあれば地域振興につながるというのは、ごもつともである。みんなでどうやって植えていくのかはもとより、最終的には皆さんが儲けることにつなげていかなければならないと考えている。農政サイドと私共が創業支援の事業を持っているので、事業化を検討いただけたら有難い。

**【特記】**

■各地区の地域づくりに向けた取り組みについての中で話のあった「長浜地区コミュニティ協議会関係の下水道整備事業」について

(コミ会長)

既存のし尿処理施設が老朽化しているため、下水道処理施設と並行で進めることとなり、設置場所がほぼ決定したところである。3月16日に県の許可が下りたと連絡をいただき、関係者一同喜んでいる。今年度は引き続き、下水道事業に早期に着手できるように積極的に協力していきたいと思っているので、市の方の理解と協力をいただきたい。下水道事業が進むと、環境整備の面で良くなると考えている。

**【市長】** \*総評の中で回答

長浜の公共下水道は、皆さん方で協力し合って何とか生活環境の改善をしたいという意思の表れであり、下水処分場の場所も決めていただいた。ただ、加入していただかなければ、宝の持ち腐れになってしまうので、是非とも、加入をお願いしたい。